

第26回微粒化シンポジウム

Twenty-sixth Symposium (ILASS-Japan) on Atomization

日本液体微粒化学会

第26回 微粒化シンポジウム実行委員会

委員長 壹岐 典彦

主催 日本液体微粒化学会 (ILASS-Japan)・日本エネルギー学会

協賛 ILASS-Korea, エネルギー・資源学会, 応用物理学会, 化学工学会, 可視化情報学会, 自動車技術会, 静電気学会, 石油学会, 日本画像学会, 日本ウォータージェット学会, 日本エアロゾル学会, 日本化学会, 日本ガスタービン学会, 日本機械学会, 日本原子力学会, 日本工業炉協会, 日本航空宇宙学会, 日本混相流学会, 日本耳鼻咽喉科学会, 日本伝熱学会, 日本塗装技術協会, 日本塗装工業会, 日本燃焼学会, 日本農作業学会, 日本バーナ研究会, 日本マリンエンジニアリング学会, 日本薬学会, 日本流体力学会, 農業食料工学会, 農業施設学会, 農業農村工学会, 粉体工学会, 粉体粉末冶金協会 (依頼中を含む)

後援 産業技術総合技術研究所

1. 開催趣旨 微粒化技術は、エネルギー機器・粉体製造・医薬・農薬・食品・塗装・環境制御など、広く利用されているためその重要性はますます高まっています。本シンポジウムは、多方面からの研究者・技術者が集まり、研究成果や研究開発中に生じた問題点や解決策の報告をとおして、産官学が一体となって微粒化技術の新しい展開を図ることを目的としています。

2. 開催要領 日程：2017年12月19日（火）－20日（水）

場所：産業技術総合研究所 臨界副都心センター 別館

(〒135-0064 東京都江東区青海2-3-26)

新交通ゆりかもめ「テレコムセンター」駅下車 徒歩3分

詳細は <http://www.aist.go.jp/waterfront/ja/access/> をご参照下さい。

3. 内容 一般講演、特別講演、技術懇談会および微粒化関連の機器展示とカタログ展示等を企画しております。

オーガナイズドセッションのテーマとオーガナイザ

① 最新計測技術

座間 淑夫 (群馬大学)、

文 石洙 (産業技術総合研究所)

一般講演：◆ 噴霧燃焼, 噴霧冷却, 表面処理等の工業技術における微粒化

◆ コロイド, エマルジョン等の化学工業における微粒化

◆ 液体の分裂機構, 噴霧の挙動, 二相流等の流体力学的解明と微粒化

◆ 液滴の蒸発・混合気形成過程, 混相流, マイクロバブル

◆ その他微粒化関連分野

一般講演の種類：次の2つがあります。

(1) 研究講演 [A4原稿4 - 8頁]：研究や開発の成果を公表するもの。

(2) 速報講演 [同2 - 4頁]：研究や開発途中の新事実や問題点を指摘するもの。

資料や事例なども含みます。

なお、講演の採否は学会にご一任下さい。

優秀講演賞：2017年1月1日時点で40歳以下の若手講演者を対象にした優秀講演賞の表彰を行いません。

日本エネルギー学会奨励賞：日本エネルギー学会の会員で講演時に35歳以下の方は日本エネルギー学会奨励賞候補者の推薦対象になります。

4. 講演申込方法

(1) 講演申込締切：2017年9月1日（金）までに Web サイト (<http://www.lass-japan.gr.jp>) からお申込ください。

- (2) 論文原稿締切：2017年10月23日（月）までに、執筆要領にしたがって作成した原稿のPDFファイルを「講演論文担当事務局」宛にご送付ください。原稿フォーマットはWebサイト (<http://www.ilass-japan.gr.jp>) よりダウンロードしてご使用下さい。なお、原稿はシンポジウムの講演論文集に掲載されるだけでなく、その一部が日本液体微粒化学会発行の学会誌「微粒化」に掲載されるシンポジウム報告等の記事に転載されることがあります。

—講演論文担当事務局—
〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138
大阪市立大学 大学院 工学研究科 機械物理系専攻
「第26回微粒化シンポジウム」講演論文担当幹事 脇本 辰郎
TEL：06-6605-2965 E-mail：wakimoto@mech.eng.osaka-cu.ac.jp

(3) 講演方法について

講演時間は25分（発表15分，討論10分）を予定しています。講演会場には液晶プロジェクターを用意しますので、講演者はノートパソコンをご持参いただきますようお願いいたします。

5. 参加申込方法 シンポジウム参加要領は以下のとおりです。（講演者も参加申込が必要です。）
（参加申込みのWebサイトからのお申込み受付開始は6月中を予定しています。※会場の利用ルールにより、「セミナー等参加者カード」の着装と明示が必要で、参加者名簿を会場に事前提出しますので、事前申込にご協力下さい。申込期限後であってもご連絡頂ければ幸いです。）

- (1) 参加費： シンポジウム参加費には講演論文集代を含みます。技術懇談会は12月19日の講演終了後に開催されます。なお、協賛学協会の会員の方々は「会員」の資格で参加できます。

シンポジウム参加費	会員 事前申込	6,000円	(申込期限後 7,000円)
	非会員 事前申込	11,000円	(申込期限後 12,000円)
	学生 事前申込	3,000円	(申込期限後 4,000円)
技術懇談会参加費	一般 事前申込	5,000円	(申込期限後 6,000円)
	学生 事前申込	1,000円	(申込期限後 2,000円)

※非会員の方はこの機に是非ご入会下さい。（年会費：[正員:3000円，学生員:1000円]，入会金：なし）入会方法については <http://www.ilass-japan.gr.jp/> をご参照下さい。シンポジウム会場でもご入会を受け付けております。

- (2) 事前申込方法：2017年12月1日（金）までに、Webサイト (<http://www.ilass-japan.gr.jp>) からお申し込みのうえ、下記の銀行口座に参加費の合計額をお振り込み下さい。Webサイトからの申込のみでお振り込みが無い場合には、当日、申込期限後の金額をいただきます。

—銀行口座—

みずほ銀行 日吉支店 普通口座番号：2101416

口座名称：日本液体微粒化学会

—参加担当事務局—
〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1 工学部7号館
東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻
「第26回微粒化シンポジウム」参加担当幹事 井上 智博
TEL: 03-5841-0351 E-mail：inoue@rocketlab.t.u-tokyo.ac.jp

6. 実行委員会

委員長	壹岐 典彦（産業技術総合技術研究所）
副委員長・会場担当	野村 浩司（日本大学）
幹事・講演プログラム/講演論文集担当	脇本 辰郎（大阪市立大学）
幹事・参加/会計担当	井上 智博（東京大学），
幹事・広報担当	尾形 陽一（広島大学）
幹事・表彰担当	瀬尾 健彦（山口大学）
幹事・機器展示依頼担当	座間 淑夫（群馬大学）
委員・会場担当	文 石洙（産業技術総合研究所）
委員	榎本 啓士（金沢大学），大嶋 元啓（富山県立大学），小熊 光晴（産業技術総合研究所），小橋 好充（北海道大学），辻村 拓（産業技術総合研究所）